

林業安全コラム

こころとからだの健康づくり
みんなで進める働き方改革
(全国労働衛生週間スローガン)

今月は、正確で安全な伐木技術を習得するための高知県の取組をご紹介します。

○ 高知県立林業大学校：数値による明示的な評価手法を導入した研修の実施

高知県立林業大学校では、東京大学大学院の飛田京子氏を講師に招き、7月25日から27日まで、基礎課程の研修生を対象に、数値による明示的・客観的な評価手法を導入した伐倒作業の反復練習により正確なチェーンソー操作を身に付け、チェーンソー作業の安全性の向上を図るための「チェーンソーワーク研修」を実施しました。同氏を講師として実施する研修は本年2月に続いて2回目となります。

今回の研修では、

- ① 垂直に立てた直径30cm程度の丸太を使用した伐倒訓練による正確な受け口、追い口の作成、正確な伐倒方向の数値化とデータ収集
- ② 15m先に伐倒方向の目標を定め、ガンマークを活用して正確に目標とする方向に受け口が作成できたか精度を確認
- ③ 回転計でチェーンソーの回転数を確認しつつ、丸太を一定の回転数を保ちながら伐る練習や早く伐るために最適な回転数を体で覚える練習
- ④ 研修最終日には2日間の研修の成果である受け口、追い口、ツル幅、伐倒方向の精度を競うコンテスト

など実習中心のカリキュラムを3日間にわたり実施しました。



受け口の角度の計測と記録



ガンマークを活用した受け口の精度確認

林大の担当によると、研修で実施した成果を数値化して表現する手法は生徒にとっても非常にわかりやすい、平場でしっかり練習して山で実践していきたい、とのこと。また、研修を受講した研修生からは、伐倒方向の正確性や受け口の角度、ツルの均等さや幅等を測定し記録することで、具体的に何が悪いかわかりやすく、改善できるのでとても勉強になった、とのこと。

林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・ 岩手県（警報発令期間：H30.8.22～H30.11.30）

・ 一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

・ 林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・ 労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org)

林野庁

林業労働対策室

労働安全衛生班

TEL:03-3502-1629